

しあわせ実感・みらいに共感！ ～ニューノーマルでのしあわせ実感と将来への挑戦～

平成 30 年 7 月豪雨災害やコロナ禍によるダメージを克服し、将来にわたる市民生活や産業活動を持続する上で不可欠な「安心」「健康」を守る社会生活基盤をより強固なものへ高めていくとともに、新たに策定した第5次府中市総合計画の理念を実現させる。ニューノーマル時代を見据えて各分野でDXを活用し、ミライ志向で「産業競争力の強化」「まちの魅力創出」「人材の育成集積」を強力に推し進め、しあわせが実感できる「選ばれる府中市」の実現を加速させる。これまで種まき・芽出し・実行と取り組んできたこれら施策の成果をカタチとして市民の皆様

令和3年度当初予算額
228億円
(対前年度比 2.5%・5 億 5 千万円の増)

R3 施政方針（基本姿勢と方向性）

重点施策の主なもの
(令和2年度3月補正を含む)

- 【第2期総合戦略～5つの戦略目標】
- ①府中市で働く
地域の特性を生かし若者をひきつける働く場をつくる
 - ②府中市で育てる
安心して出産・子育てができる環境をつくる
 - ③府中市へのひとの流れをつくる
地域の価値を高め魅力あるまちをつくる
 - ④安心して暮らすことのできる地域をつくる
持続可能な社会をつくる
 - ⑤新しい時代の流れを力にする
DXを活用したまちの豊かさの向上

DX推進によるイノベーション

コロナ禍でのパラダイムシフト

変化に対応

- 【第5次総合計画～3つの視点】
- ①ものづくり産業、子育て・教育、まちの魅力、市内人材といった府中市の強みを伸ばしていく
 - ②官民挙げてICT都市ふちゅうの実現を強力におしすすめていく
 - ③市内外へ府中市の魅力発信し、住民満足度を高め、多様な人材やビジネスチャンス呼び込む

将来戦略のビジョン

【令和2年度 基本方針】
計画から実行へ！オール府中の強固なスクラムでさらに前進！～力強い根を張り芽から幹へと成長するために～

将来戦略への種蒔き

【令和元年度 基本方針】
踏み出そう！力強い第一歩！オール府中で新しい旋風を巻き起こす！～新たな基盤となる土台づくりから種蒔きへ～

強みを生かした計画的な将来戦略

- (府中市の強み)
- ◆トッパーランナーをめざす教育・子育ての取組
 - ◆ものづくり産業の集積
 - ◆懐かしさ漂うレトロな街並みと近代産業の共存

力強い産業が発展するまち

■新たに**大学等と連携協定**を締結し、大学・研究機関の持つ科学的知見や最新技術等のリソースを活用して生産性向上や新製品開発などの研究開発を行い、既存の産業に新たな付加価値を付与しようとする市内企業を支援する。■ICT を利用した新たな事業展開や販路開拓に取り組むための助成、新たな就職マッチング、対事業所サービスの集積強化に向けた**IT人材やオアシス誘致**にも着手し、コロナ禍での**経営基盤を強化**するための支援を行う。■農業の持つ可能性を最大限引き出し、経済循環を図るための府中市初の「農業振興ビジョン」を策定し、実行に移す。■コロナによって影響を受けた事業所の事業継続支援については、引き続き機動的に対応していく。

人・つながりが育つまち

■**子育てワストップ相談窓口**をR3年7月に府中天然屋内に開設するとともに、上下地域では中山間地域のモデルとなる、全世代を通じた相談機能を持つ三玉プロジェクトのR4年4月開設に取り組む。■県内でもいち早く導入した児童生徒一人一台PCの優位性を活かし、授業改善やオンライン学習、県内トップのデジタル図書館の活用などにより学びの深化に取り組むとともに、**独自カリキュラム**や**プログラミング教育**を市内全校に浸透させることにより論理的思考力や協働による課題解決力を高め、ミライに活躍する人材を育成するため子供たちの教育環境づくりに先進的に取り組む。■地域と学校が「学び」を通して協働するコミュニティ・スクール、幼保小連携、上下高校の魅力づくりをはじめとした市内3公立高校との連携を強化する。■県と共同開発しているAIによる子どもの予防的支援システムの運用開始、子ども家庭総合支援拠点の設置、専任スクールカウンセラー配置、校内適応指導教室の増設など、子育て教育のセーフティネットの充実を図る。

活気・賑わいを生むまち

■府中市の新たな賑わい形成のリーディング事業である**天満屋プロジェクト**を7月にオープンさせ、屋内広場・5Gを活用したリアルプログラムを実施することで共感を呼び、市民・市内企業の皆さんとともにプロジェクトを成長させていくとともに、2期整備に向けた検証・実施計画を策定する。■府中市のシンボルである恋しき、翁座の活用検討を本格化させるとともに、グランドデザインの具体化に向けたこどもの国公園整備(学生デザインコンパによるトイル設計を含む)、JR府中駅周辺整備の基礎資料となる構内調査、道の駅周辺の賑わい創出に向けた社会実験を行う。■**B&G プールの建替調査**や芝生グラウンドの整備、ウォークスポーツであるゼロハカレース、ハイブリッドマラソン大会の実施など、スポーツを通じた新たな賑わい創出に取り組む。■with コロナでの安心・健康が注目されるなか、新たな観光コンテンツであるワーケーションなどキャンプ場の魅力づくり、快適・安心な観光の基本となるトイル環境整備に取り組むほか、府中市らしい「ライフスタイル・ツーリズム」に向けた地域資源を活かした多様なプログラム開発に、観光協会・市内企業・地域の皆さんと一体となって取り組んでいく。■先駆的に取り組んでいる府中市の**ドローン**の戦略的価値を最大限活かすため、実証フィールドの提供により企業・人材の誘致可能性につなぐとともに、多くのファンを呼び込む全日本レースの誘致及びドローンフェスの開催、近隣にはないデジタル工房であるファブラボの運営体制の強化等について、一体的に取り組んでいく。

安全・安心が持続するまち(市民生活・産業の基盤)

■2月に設置した「ワクチン接種推進チーム」を中心に、**ワクチン接種の円滑かつ着実な実施**に全力を挙げるとともに、国保税の引き下げなど市民の負担軽減を行う。■平成30年7月豪雨害の復旧を完了させるとともに、将来に向けた自然災害に備えるため、平成30年7月で被害のあった地域の総合的な**内水浸水対策**に着手するほか、昨年7月の短期集中豪雨による**市街地浸水**の原因対策調査を実施する。■デジタルを活用した災害対策本部機能の強化、地域と連携した避難所運営訓練などにより実践的な地域防災力強化を図る。■公共交通が厳しい状況にさらされている中、事業者とともに公共交通の今後の在り方を検討する。■医療従事者の確保を含めた事業継続支援により医療提供サービスの中核を担う公立3病院を堅持するとともに、引き続き将来を見据えた病院の診療機能検討や広域連携方策の充実を図る。あわせて湯が丘病院の建替更新に向けた取組を計画的に実施する。■コロナ禍のもと、市民一人ひとりの健康づくりがより重要であることから、ICTを活用したフレイル予防、リハビリなどの訪問系サービスの充実や介護人材の確保、オンライン診療に向けた取組を強化していく。■コロナによって影響を受けた市民生活への支援を引き続き機動的に対応していく。

ICT都市ふちゅうの実現

■府中市のICT化の取組が県・民間企業からも注目されているなかで、今後さまざまな分野でのDXを戦略的に取り組んでいくため市役所内の推進体制を強化する。■行政DXの分野では単なる電子化や効率化で終わるのではなく、各部各課の事業や業務のあらゆる場面を通じ、ICTを活用した仕事の改革や市民サービス満足度の向上など「イノベーション」の視点で取り組み、職員育成や職場環境の変革を目指していく。■ICTリテラシーの普及拡大、**総合窓口システム・市民向け総合アプリ**導入、産業連係室や県の「DX推進コミュニティ」などを通じた個別相談や仕組みづくりなど、市民や企業の皆さんがICTの便利さを楽しむ府中市を築きあげていく。

「選ばれるまち」ふちゅうの実現(横断的目標)

■新聞・テレビでの府中市の露出度が高まりつつある中、これまでの事実を伝えるだけの広報から、ターゲットを想定した**「刺さる情報発信」**、必要などころに**「届ける情報発信」**といった、「商品開発」「営業活動」「顧客起点(マーケット)」の発想に基づく戦略的な広報にシフトさせる。■訴求力の高い事業内容、インフルエンサーや媒体の工夫などによる拡散力の向上を図り、共感を通じた応援・ファン獲得、府中市への選好、ビジネスチャンスにつなげる。■幅広い分野での包括連携協定締結等により、多様な主体との協働により共感を呼ぶ施策を展開する。

- 施策に反映→
- 大学との協働による市内企業の研究開発の助成
 - 寄附講座による学生獲得
 - ICT・Webを活用した見本市やEコマース、web就活の取組支援
 - 農業振興ビジョン策定
 - 産業団地調査検討
 - IT・デザイン関係などのテレワーク誘致
 - 獣害対策
 - 企業・飲食店支援(コロナ)

- 府中版初音ミクの實現(天満屋プロジェクト・三玉プロジェクト)
- 教育課程研究センターの設置
- GIGAスクール
- プログラミング教育
- 独自の言語技術指導カリキュラム「ことば探究科」
- AIによる子どもの予防的支援システム
- 虐待防止に向けた連携組織の強化
- 学びのセーフティネット
- 上下高校支援
- デジタル図書館の幅広い活用

- 天満屋プロジェクト
- 大学と連携した関係人口呼び込み(府中市版ワーキングホリデー)
- テレワーク・IT人材誘致
- こどもの国公園整備
- 駅構内測量調査
- 駅周辺社会実験
- ワーケーション・キャンプ場
- 観光地トイル整備
- 複合型の新たな市民プール基本構想・芝生グラウンド整備
- only-oneスポーツ(EV&ゼロハカレース・ハイブリッドマラソン)
- ドローン戦略
- 住生活環境整備・NEW空き家バンク

- コロナワクチン接種
- 排水路改善対策(雨水排水施設総点検調査)
- ポンプ排水機能強化(浸水対策)
- 災害本部機能の強化
- 地域防災力(避難所運営マニュアル地区・実践力強化)
- 新たな公共交通在り方検討会の立ち上げ
- し尿処理場・ごみ処理場整備
- 持続可能な医療提供体制確立・公立病院経営支援
- オンライン診療・相談
- 公立病院でのマイナンバーカード受診(オンライン資格確認)
- フレイル予防(健康チェック・通いの場)
- 健診受診率向上
- 介護人材確保(外国人受入・訪問サービス強化)
- キャンプ in ふちゅう医療職等受入(コロナ)

- 市役所内の業務プロセス改善を図り、業務の効率化、働き方改革と住民サービスの向上を強力に推し進める(▲申請書の押印廃止・電子申請化 ▲オープンデータ ▲総合窓口システム ▲職員用PCの充実(閉域WANとオープンネットワーク対応)によるIT-ネットワークや多様な働き方の推進)
- マイナンバーカード取得促進出前講座
- 光回線普及
- 市民・企業向けICTリテラシー向上事業
- 公民館等ICT化
- 市民向け総合アプリ